

交通安全教育資料「セーフティ・アクション 21」活用状況調査報告

(財) 日本交通安全教育普及協会

1. 目的

「高校交通教育の実践」研修会参加校に配布した、交通安全教育資料「セーフティ・アクション 21」の活用状況を調査し、高等学校における交通安全教育活動の現状を知るとともに、今後の資料作りの参考とする。

2. 調査対象

平成 20 年度から 22 年度に行った「高校交通教育の実践」事業研修 6 府県の参加校 496 校
実施県：高知県、兵庫県、山梨県、神奈川県、千葉県、京都府

3. 調査期間

平成 23 年 9 月 20 日（火）～ 10 月 4 日（火）

4. 調査方法

調査票を送付し、F A X で回収

5. 回収率

- ・調査対象校 496 校のうち回答校 230 校
- ・回収率 46.4%

6. セーフティ・アクション 21 の活用率

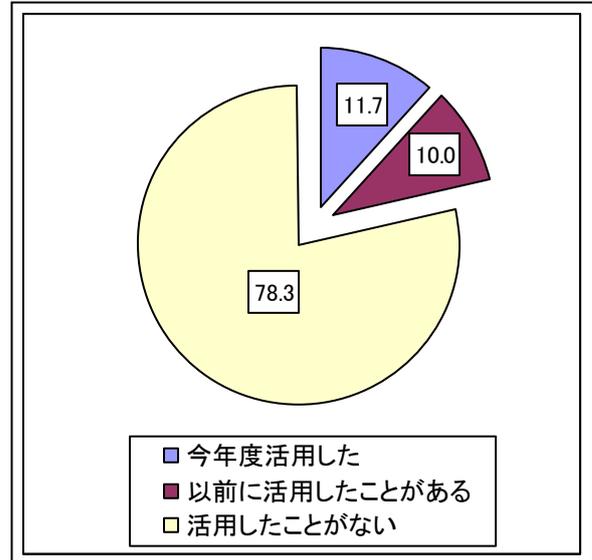
- ・回答校 230 校のうち、今年度活用した学校は 27 校
過年度に活用した学校は 23 校 合計 50 校
- ・活用率：21.7%

セーフティ・アクション 21 活用状況調査結果

<活用したことがあるか>

		今年度活用した	以前に活用したことがある	活用したことがない
全 体	230 件	27	23	180
	100.0	11.7	10.0	78.3

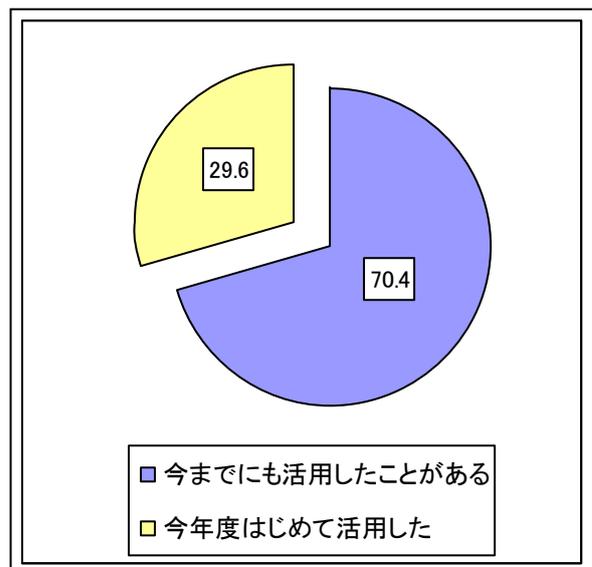
◆活用率は 21.7%。今年度活用した学校はそのうちの 54.0%



「今年度活用した」と回答した学校に対して

		今年度活用した	今年度活用した
全 体	27 件	19	8
	100.0	70.4	29.6

◆今年度活用した 11.7% (27 校) のうち、大半の 70.4% が、今までも活用したことがある。

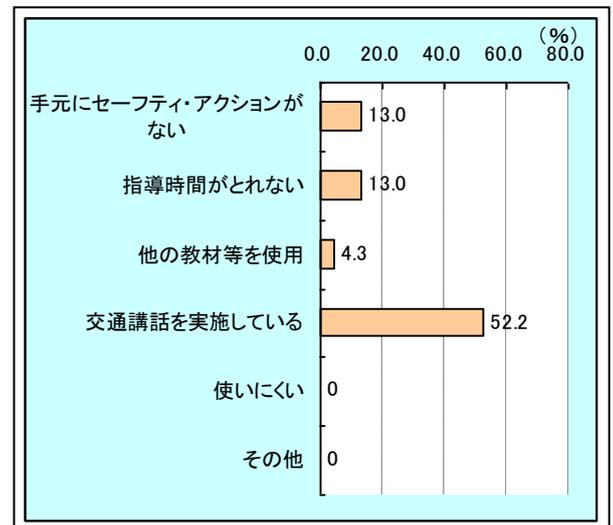


「以前に活用したことがある」が、今年度活用しなかった学校に対して（複数回答可）

活用しなかった理由

		い 手元にセーフティ・アクションがない	れ 指導時間がとれない	使 他の教材等を使用	し 交通講話を実施している	使 使いにくい	そ その他
全 体	23件 100.0%	3 13.0	3 13.0	1 4.3	12 52.2	0 0	0 0

◆活用したことがあるが、今年度活用しなかった理由は、52.2%「交通講話を実施している」としている。

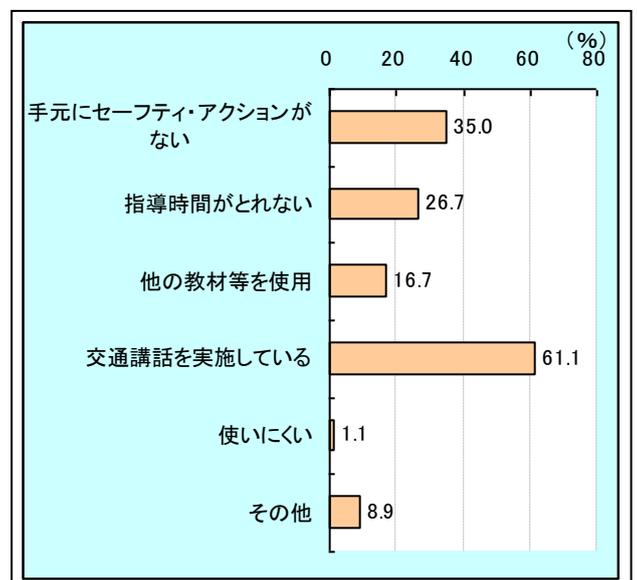


「活用したことがない」と回答した学校に対して（複数回答可）

活用しなかった理由

		い 手元にセーフティ・アクションがない	れ 指導時間がとれない	使 他の教材等を使用	し 交通講話を実施している	使 使いにくい	そ その他
全 体	180件 100.0%	63 35.0	48 26.7	30 16.7	110 61.1	2 1.1	16 8.9

◆活用したことがない理由として、「交通講話を実施している」61.1%、次いで「手元にセーフティ・アクションがない」35.0%、「指導時間がとれない」26.7%。

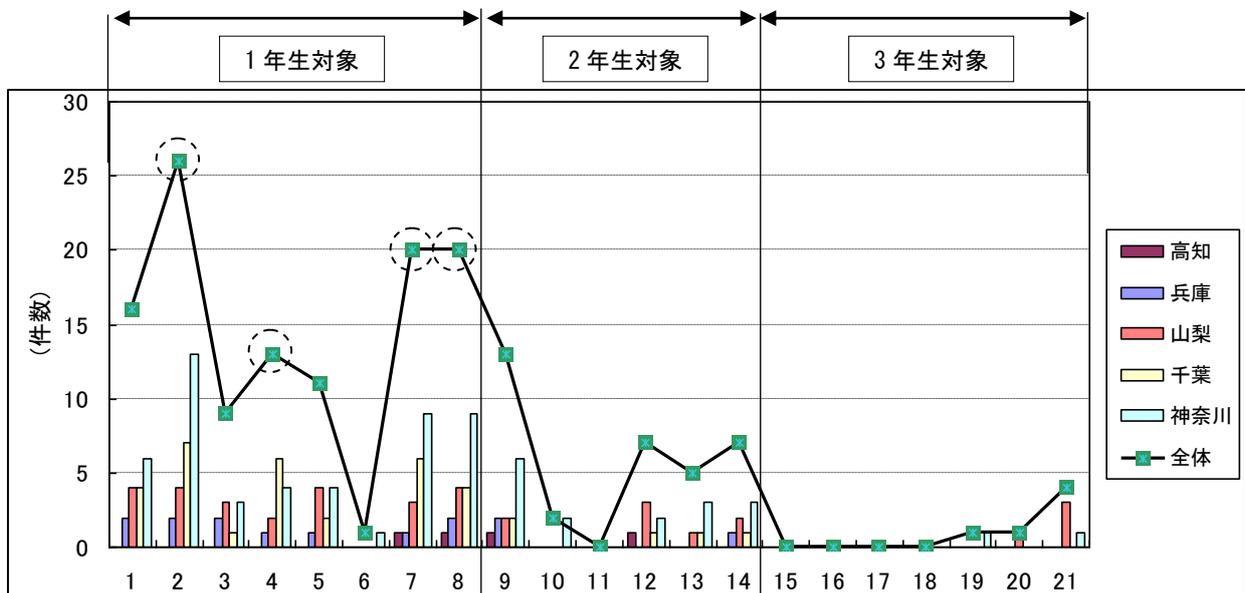


【その他 16件】

- ・他の交通安全指導を実施している 9件
警察などから自転車マナー等の指導を受けているため。など。
- ・今後活用したい 7件
セーフティ・アクション 21 をこのアンケートで知ったので、今後活用したい。など。

◆活用した内容 (複数回答可)

No	テーマ	対象	カテゴリー
1	交通社会人としての自覚はできている？	1年生	法規
2	自転車は歩行者？ それとも車両？	1年生	法規
3	路上ではみんなパートナー	1年生	共生
4	一時停止標識があるところでは自転車も停まらないといけない？	1年生	自転車
5	二輪車は、四輪車に見せる・見られる運転が大事	1年生	原付
6	車に乗せてもらうのは楽しい。でも危険もある	1年生	四輪車
7	この画面の中にどんな危険がありますか？ (自転車乗用中)	1年生	危険予測
8	事故にあったらどうする？事故を見たらどうする？	1年生	事故対応
9	違反や事故はあなたの人生設計に影響を与える	2年生	法規
10	高齢者とよいパートナーシップ	2年生	共生
11	上手に運転しているのに、危険な運転といわれる。どうして？	2年生	原付
12	この画面の中にどんな危険がありますか？ (原付運転中)	2年生	危険予測
13	事故現場であなたができること	2年生	応急手当
14	通学路の危険箇所マップづくり	2年生	安全マップ
15	四輪車の免許を持つことは、プラス、マイナスの両面がある	3年生	法規
16	エコロジーと車の運転	3年生	エコロジー
17	路上でよりコミュニケーションをとれることが、よいドライバーの大事な条件	3年生	共生
18	運転はいろいろなものに影響される	3年生	四輪車
19	友達を車に乗せるということは、友達の命を預かるということ	3年生	四輪車
20	車の速度と自己過信 (四輪車)	3年生	四輪車
21	この画面の中にどんな危険がありますか？ (四輪車運転中)	3年生	危険予測



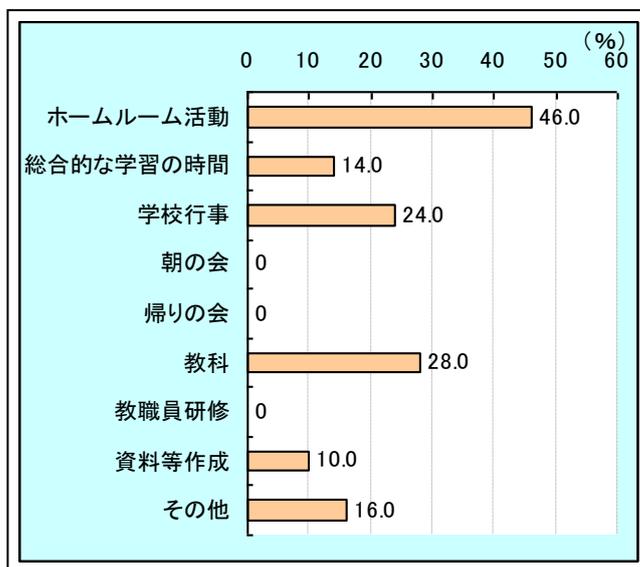
※ () は自転車に関する内容 ※ 自転車に関する内容 (79件、50.6%)

No	1	(2)	3	(4)	5	6	(7)	(8)	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
50件	16	26	9	13	11	1	20	20	13	2	0	7	5	7	0	0	0	0	1	1	4
100%	32.0	52.0	18.0	26.0	22.0		40.0	40.0	26.0		0	14.0	10.0	14.0							8.0

- ◆「自転車は歩行者？それとも車両」が最も多く 52.0%、次いで「この画面の中にどんな危険がありますか？（自転車乗用中）」「事故にあったらどうする？事故を見たらどうする？」が共に 40.0%でトップ3。
- ◆内容別で見ると、自転車に関する内容が全体 156 件のうち 79 件 50.6%と多い。
- ◆対象学年で見ると、全体 156 件のうち 1 年生対象の内容が 74.4%と最も多く、2 年生対象は 21.8%、3 年生対象は 3.8%と少ない。

<活用した場面> (複数回答可)

		ホームルーム活動	総合的な学習の時間	学校行事	朝の会	帰りの会	教科	教職員研修	資料等作成	その他
全体	50件	23	7	12	0	0	14	0	5	8
	100.0	46.0	14.0	24.0	0	0	28.0	0	10.0	16.0



- ◆「ホームルーム活動」での活用が約半数の 46.0%で最も多く、次いで「教科」28.0%、「学校行事」24.0%となっている。

【「教科」14 件の内訳】

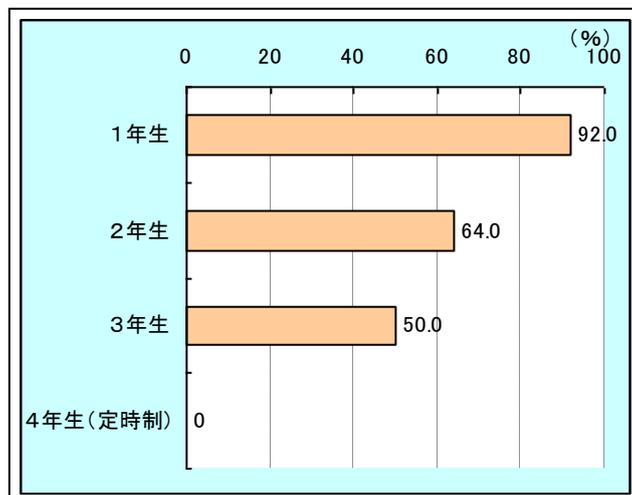
- ・14 件中 13 件が科目「保健」、1 件が「安全教育」

【「その他」8 件の内訳】

- ・バイク通学生集会、交通安全高校生会議、個別指導、学年集会、学校集会、全校集会等

<活用した学年> (複数回答可)

		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生 (定時制)
全体	50件	46	32	25	0
	100.0	92.0	64.0	50.0	0

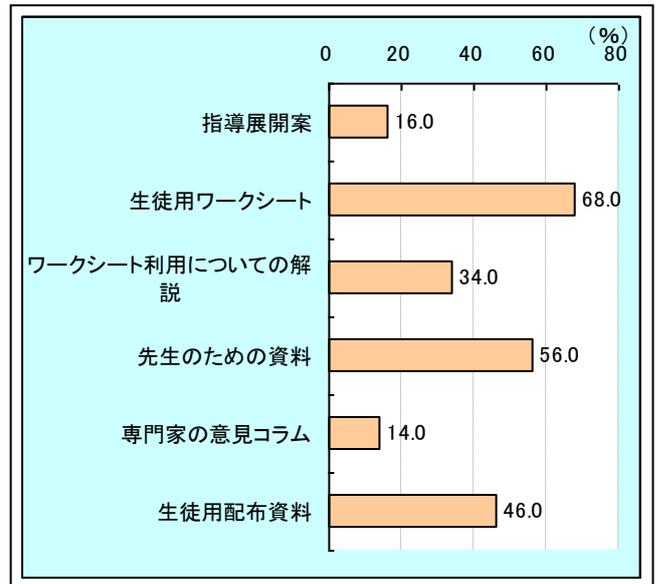


- ◆「1 年生」が 92.0%で最も多く、「3 年生」は半分の 50.0%と少ない。

<活用した項目> (複数回答可)

		指導展開案	生徒用ワークシート	ワークシート利用についての解説	先生のための資料	専門家の意見コラム	生徒用配布資料
全体	50件	8	34	17	28	7	23
	100.0%	16.0	68.0	34.0	56.0	14.0	46.0

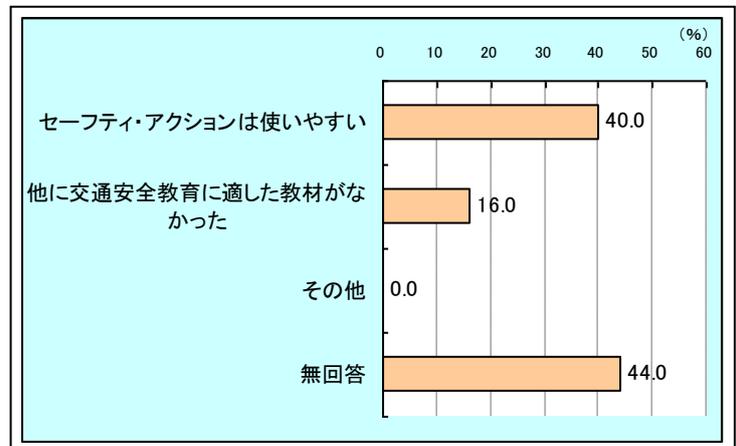
◆「生徒用ワークシート」が68.0%で最も多く、次いで「先生のための資料」56.0%。その他の項目は5割に満たない。



<活用した理由> (複数回答可)

		セーフティ・アクションは使いやすい	他に交通安全教育に適した教材がなかった	その他	無回答
全体	50件	20	8	0	22
	100%	40.0	16.0	0	44.0

◆「セーフティ・アクションは使いやすい」が40.0%で最も多いが、無回答が44.0%あった。

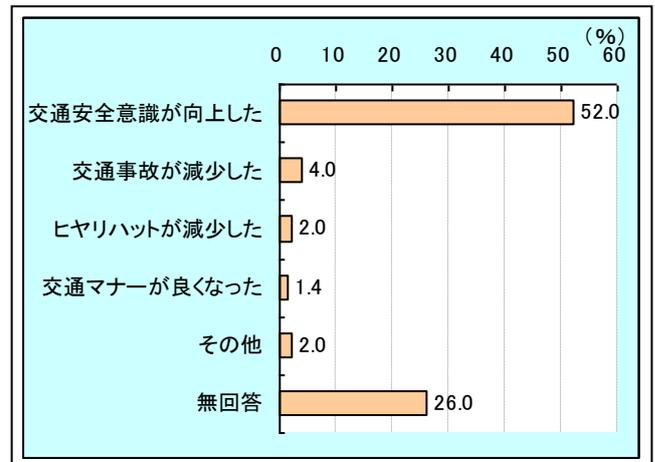


<活用した効果> (複数回答可)

【生徒について】

		交通安全意識が向上した	交通事故が減少した	ヒヤリハットが減少した	交通マナーが良くなった	その他	無回答
全体	50件	26	2	1	7	1	13
	100%	52.0	4.0	2.0	1.4	2.0	26.0

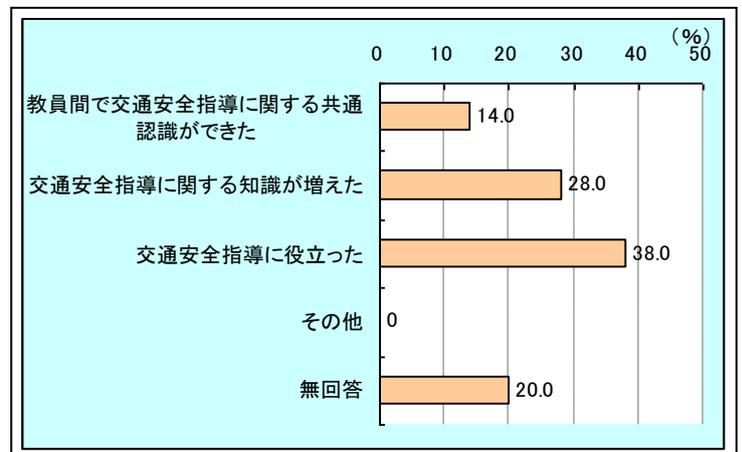
◆「交通安全意識が向上した」が52.0%と最も多いが、無回答が26.0%あった。



【先生について】

		交通安全指導に関する知識が増えた	交通安全指導に役立った	交通安全指導に関する共通認識ができた	その他	無回答
全体	50件	7	14	19	0	10
	100.0%	14.0	28.0	38.0	0	20.0

◆「交通安全指導に役立った」が38.0%、「交通安全指導に関する知識が増えた」が28.0%。



記述式回答まとめ

<セーフティ・アクション 21 改善点> (9 件)
・ このアンケートでセーフティ・アクション 21 を知った。広報の在り方を工夫してほしい。
・ CD版だけでは、資料は作成しやすいが全体的な把握がしづらい。
・ 資料作成のために画像やグラフをそのままコピー、ペイストして利用したい。
・ 道路交通法の改正点を反映してほしい。
・ 使われているデータが古い。
・ 年間6～7回も安全教育に時間が取れない、学期に1回、または年1回用にまとめてもらえればもっと活用できる。
・ 時間確保が難しいので（多くて学期に1回程度）それを対応させる対応表をつけてもらえればありがたい。など
<今後活用したい> (10 件)
・ この教材はホームルームで行う場合に適しているので活用を計画したい。など

交通安全指導に必要な資料は何か
○自転車に関するもの (73 件のうち 31 件 42.2%)
・ 事件事例・法規について 5 件
自転車に関係した事故の具体的な事例／交通法規／道交法改正点 など
・ マナーに関すること 5 件
マナー向上が課題／マナー指導等の仕方や具体的な事例 など
・ 加害事故対策 5 件
自転車が加害者になり得ること／加害者になってしまった場合の実例集 など
・ 補償と責任 3 件
自転車事故に対応した保険の紹介／責任を感じさせ、考えさせるデータ など
・ ワークシート・指導案 2 件
自転車指導のワークシートやクイズ／体験型の交通安全教育指導案
・ その他 11 件
自転車事故の事例の原因と対策／事故時の正しい対応 過去の新聞記事やトピックの紹介／自転車に関する交通安全資料 など

○その他 (73 件のうち 42 件 57.5%)	
・ 視聴覚教材	11 件 15.1%
全校集会で使用できるDVD等で解説入りの資料／映像による事故の重大さ、危険、マナー意識の向上の必要性が理解できるもの／動画で編集され短時間で指導可能な教材	
・ 心に響く教材	6 件 8.2%
被害者や加害者の手記／交通事故による苦しみなど、心の内面を伝える資料 事故がその後の人生に与える影響や悲惨さを伝える資料 など	
・ 事事故例	6 件 8.2%
高校生が遭った事故の実例／交通事故、違反をした場合に課せられる処分 実際の事故情報や防止方法などのデータ／交通事故などに関する最新データ など	
・ 小テスト・クイズ	3 件 4.1%
保健の授業で使えるようなクイズや小テスト／交通規則チェックテスト（解答付き） など	
・ 指導者についての情報	3 件 4.1%
指導や講義を実施してくれる組織の情報／教材より実技指導等が可能な人材 など	
・ その他	13 件 17.8%
危険予測訓練に関する資料／素材となるイラストや写真／交通違反に対する罰則 具体例が多い資料／ルールを守ることが何故必要なかを納得させる資料 など	

セーフティ・アクションの改善点

- ◆ 今回のアンケートでセーフティ・アクションを知り今後活用したいと思った。広報してほしいなどの意見があった。
- ◆ 改善点としては、画像やグラフをそのままコピーして使いたい、データを新しくしてほしい、使いやすいようにコンパクトにまとめるなどの意見があった。

交通安全指導に必要な資料

- ◆ 最も多いのが自転車に関する内容で全体の 42.2%を占め、その内訳を見ると、事故事例や法規の説明、マナー向上のための資料、加害者事故対策や保険の問題など多岐にわたる。
- ◆ 自転車に関する内容以外では、DVD などの動画を用いた教材が 15.1%と多く、視聴覚教材は効果的と考えられている。
- ◆ その他としては、高校生の事故事例や事故データ、クイズや小テストなどを挙げている。

結果概要

- ・活用率は全体の2割で、リピート率はその中の7割。
- ・活用したことがない理由は、6割が「交通講話を実施している」、3割強が「手元にセーフティ・アクションがない」、3割弱が「指導時間がとれない」
- ・活用した内容は、「自転車に関する内容」が5割。
- ・活用した場面は、「ホームルーム活動」が5割弱、科目「保健」3割弱。
- ・活用した学年は、1年生が9割強。
- ・活用した項目は、「生徒用ワークシート」が7割弱、「先生のための資料」が6割弱。
- ・今後必要な資料は、「自転車に関する内容」が4割強、「視聴覚教材」1割強。
- ・セーフティ・アクション21の改善点
 - 年間6～7回も安全教育に時間が取れないので、学期に1回、または年1回用にまとめて。
 - CD版だけでは、全体的の把握がしにくい。
 - 道路交通法の改正点を反映してほしい。
- ・モデル校のその後の活動
 - 今年度にセーフティ・アクション21を活用した学校は4校で3割強。
 - モデル校の指定以降、リスク実態アンケート調査を実施した学校は5校で4割強。

まとめ

- ・セーフティ・アクション21を活用した教員の評価は高く、リピート率は高い。
- ・1年生の「ホームルーム活動」や科目「保健」の中で、「生徒用ワークシート」と「先生のための資料」を用いた自転車安全教育で活用されることが多い。
- ・外部講師による講話中心の指導は比較的簡単に実施できることから、講堂で全校生徒を集めた交通安全講話や自転車マナー等の指導をすることで交通安全教育を実施している。そのため、1単位時間（50分）での学習を中心としたセーフティ・アクション21が活用される機会は少ない。
- ・セーフティ・アクション21の改善点は“コンパクトにまとめてほしい”。
- ・モデル校のその後の活動では、セーフティ・アクション21の活用率は他に比べて若干高い。
- ・高等学校が抱えている交通安全指導上の問題は自転車指導。

課題

- ・教員の交通安全意識の向上
- ・効果的な自転車安全教育の推進（全体講話からきめ細かい安全学習へ）
 - セーフティ・アクション21を活用した、実践的で具体的な自転車安全教育の普及